



10/13 地区の誇りを胸に いざ、ハッスル ～スポレクあらかわ'19～

▶小学生の徒競走。地区の代表として、一生懸命頑張りました。



スポーツ活動に対する意識の向上や健康で明るい地域づくりを目指し、スポレクあらかわ'19を陸上競技場で開催しました。台風により中止になった昨年とは打って変わっての快晴の中、旧小学校区である12地区のうち、11地区から大人から子どもまで約1,500人が参加。徒競走・大玉運び・玉入れ・二人三脚など18競技が行われました。大会は八幡地区と緑ヶ丘地区が同率で3位、平井地区が2位、中央地区の4連覇で幕を閉じました。



1 各地区代表として全力で戦う参加者に、スタンドからも大きな声援が送られていました。2 走者ごとに手と足で交互に行うドリブルリレー。3 大玉運びでは、バランスをとりながらチームワーク良く玉を運んでいました。4 1,200メートルの健康ウォーキングは設定タイムに近づけば高得点。地区のベテランたちが長年の勤を頼りに歩きました。



10/19 身近な景観の魅力を見直し ～大牟田・荒尾合同景観発見ツアー～

▶ガイドの説明を受けながら鉄道跡を歩く参加者たち



景観資源について知り、学び、体験できる取り組みとして、荒尾市・大牟田市合同で景観発見ツアーを開催しました。当日は40人が参加し、地上57メートルの高所から見下ろす三池港や、三池炭鉱専用鉄道跡地を歩きながら眺める景観などを体験。市内では、宮崎兄弟の生家や荒尾干潟水鳥・湿地センターを巡りました。ツアーの最後は蔵崎海岸に沈む夕陽を眺め、2市が持つ景観の魅力を変えて感じる1日となりました。参加者からは、来年の開催を心待ちにする声もありました。

10/20 芸術の秋、世界遺産を描く ～万田坑スケッチ大会～

▶児童たちは、複雑な形の万田坑を真剣な表情で描いていました。



荒尾青年会議所は万田坑スケッチ大会を開催しました。郷土の宝、万田坑を知り、誇りに思ってもらいたいと毎年開催されるものです。当日は市内小学生約120人が参加し、絵の具、クレヨンや色鉛筆を使って思い思いの場所から万田坑をスケッチしていました。マジックキーとのじゃんけん大会も行われ、マジックキーの全身を使ったじゃんけん会場は盛り上がりを見せました。おじいちゃんとスケッチに来た万田小3年田伏将一朗君は「難しいけど上手にかけた」と楽しげに話しました。

地域の活動 掲示板

夕方市



万田地区協議会

グラウンドゴルフ大会



万田中央地区協議会

音と光の祭典



一小校区元気づくり委員会

桜山ふれあいげんき祭り



桜山げんきかい

カラモ掘り大会



府本地区協議会

健康ふれあい体育大会



清里地区協議会

10/27 美しい景色と音楽を楽しむ ～干潟サンセットカフェ&コンサート～

▶出演者の後方では、オリジナルTシャツがはためいていました。



ことしで3回目となる荒尾干潟サンセットカフェ&コンサートが蔵崎海岸で行われました。今回は熊本大学生が企画した、来場者が描いたオリジナルTシャツを飾る「荒尾干潟宝汐館」も同時開催されました。約700人の来場者は、ビーズクラブ、オカリナ花音デュオ、サイトウケンバンドによる演奏、干潟に並んだTシャツの景色や、マキカフェ、ラヴィアンシェリーの出張販売による軽食や飲み物を楽しみながら、ゆったりとした時間を満喫していました。

10/26・27 ようこそ、絵本の世界へ！ ～図書館まつり 2019～

▶親子で夢いっぱいのお家完成させました。



読書の魅力を伝えるため、荒尾市立図書館・中央公民館内で、ことしで10回目となる図書館まつり2019が開催されました。図書館クイズ、親子で楽しむ朗読鑑賞会や子どもの育児などについての講演会などのイベントは多くの来場者でにぎわいました。初開催の参加型おはなし会には約50人が参加。読み聞かせの絵本「100かいだてのいえ」の世界にあわせ、思い思いのお部屋の絵を描きました。参加者が描いたお部屋の絵は、図書館に掲示されています。